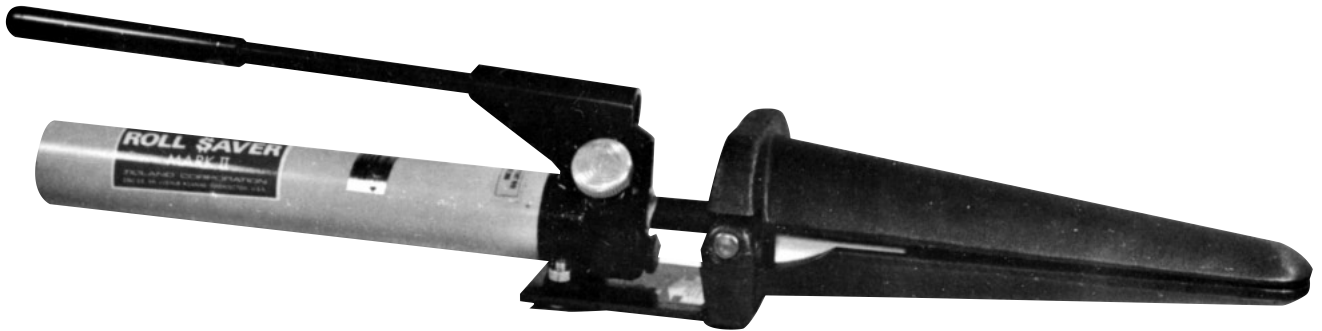




# MARK II ロールセーバー ロール修復用工具 コア内径：70mmから76mm



Mark IIは長さが660mmで、重さも9kgしかなく持運びが容易です。油圧ポンプは634kg/cm<sup>2</sup>の圧力を発生します。



Mark IIは使用が容易で、一人で壊れたロールの修復が3分で出来ます。内径70mmから76mmのコア付き、幅1,143mm迄のロールが容易に処理出来ます。

## 用途

Tidlandの“Roll-Saver” Mark IIは取扱いが容易な様に設計された油圧工具で重量は9kgと軽量で長さも660mmしかありません。油圧ポンプは634kg/cm<sup>2</sup>までの圧力を発生させ、鍛造鋼製拡張ジョウの中に取り付けられたラムは4トンの推力を発生させます。

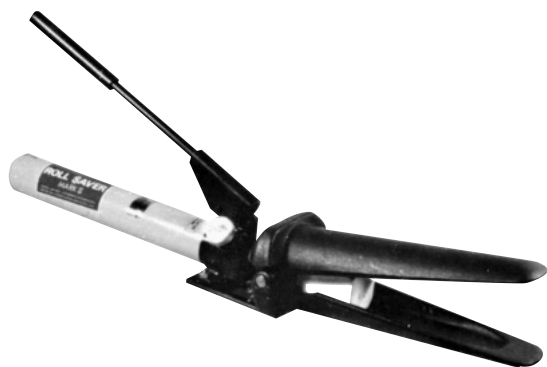
“Roll-Saver”は理論的には大きなロールの修復も出来ますが、直径が1,143mmのロールでは幅が914mmまでのロールに使う事をお勧めします。

Mark IIは内径70mmから76mmまでのファイバーコア用に設計されており、スチール又はスチールチップ付きコアにはお勧め出来ません。

鍛造鋼製ジョウの最大挿入深さは250mmです。

拡張する力はジョウの先端まで正しく伝えられます。従って、Mark IIはコアやロールの中に無理にたたき込む必要は有りません。コアを元の丸い形に修復する事は大した手間も掛けなくて容易に出来ます。

Mark IIを使えば、1人の作業者が数分で潰れたコアを修復出来、時間と金の節約になります。



Mark IIの鍛造鋼製ジョウは、ジョウの間に取付けられた油圧ラムが4トンの圧力を発生、250mmの侵入を可能にします。

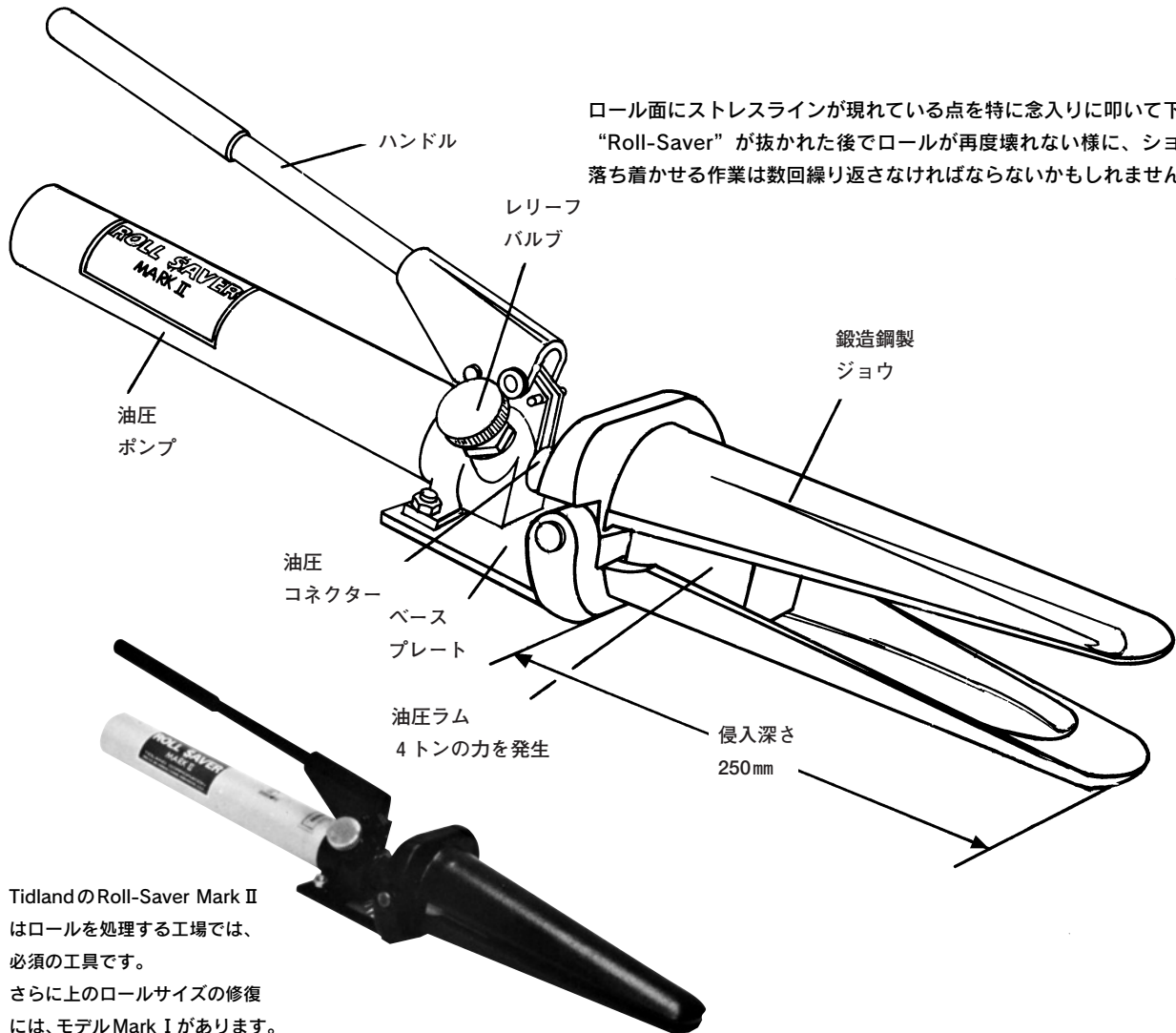
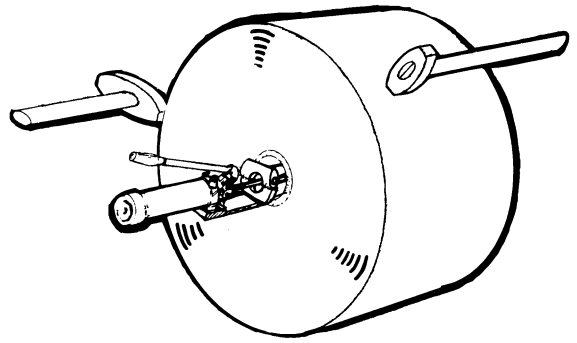
## 潰れたコアを拡げ 修復するステップ

まず始めに：“Roll-Saver”ポンプのレリーフバルブを開けて下さい。ジョウの先端を潰れたコアに突っ込んで下さい。ポンプのハンドルを数回転かすだけでジョウを開く力が発生します。レリーフバルブを開けて、ジョウを閉じて下さい。ジョウの開閉を繰り返す事により、“Roll-Saver”をロールの中に少しずつ進める事が出来ます。

次に：ジョウの方向を潰れの最も大きい方向にまわしてもう一度ジョウを開いて下さい。

最後に：コア又はロールを元の丸い形に完全に修復するには、右図のようにロールにショックを与え応力を分散させ落ち着かせる事が大事です。ジョウが最大に開いている状態で、ロールの周囲を強く繰り返し叩いて下さい。

適当な長さのパイプや野球のバット等がショックを与えるのに適当です。



ロール面にストレスラインが現れている点を特に念入りに叩いて下さい。“Roll-Saver”が抜かれた後でロールが再度壊れない様に、ショックで落ち着かせる作業は数回繰り返さなければならないかもしれません。

TidlandのRoll-Saver Mark IIはロールを処理する工場では、必須の工具です。さらに上のロールサイズの修復には、モデルMark Iがあります。



ファイフジャパン株式会社

〒263-0002 千葉県稲毛区山王町 328-1

TEL：043-421-1622

FAX：043-421-2895

カタログ No.14H-11-94